

六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第15号
校長 加藤 浩昭
令和4年9月13日

六中生の学び 良さと課題 「全国学力学習状況調査等の結果から」

4月に実施され、7月28日に結果が公表された今年度の全国学力学習状況調査。酒田市教育委員会より保護者配付用の分析結果が届き、本日配付させていただきました。合わせて、本校の結果の概要等についても報告させていただきます。

Q そもそも全国学力学習状況調査とは？

- ◇「義務教育の機会均等とその水準の向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に実施されるものです。
- ◇対象となるのは小学校6年生と中学校3年生です。
- ◇児童生徒が取り組む内容としては、教科に関する調査（学力テスト）と生活習慣や学習に向かう姿勢を問う児童生徒質問紙（アンケート）です。
- ◇教科に関する調査は例年国語と算数・数学が実施され、平成24年度から理科、令和元年度からは中学校3年生対象の英語も実施され、理科は3年に1度、英語は3年に1度程度実施されることとなっています。今年度は国語と数学に加え、理科も実施されました。
- ◇以前は、「基本的な知識・技能」を問うA問題と、「活用力」を問うB問題に分けられて実施していましたが、令和元年度からは「基本的な知識・技能」と「活用力」を一体的に問う出題形式に変わりました。

7月29日の
山形新聞の記事より(引用)

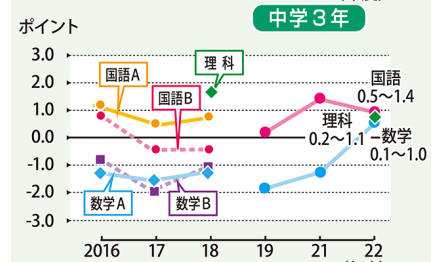
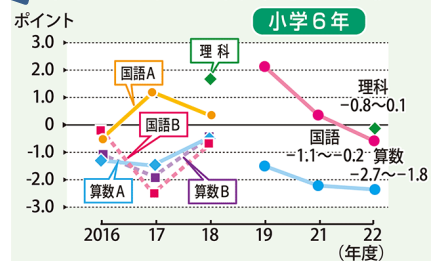
Q 山形県・六中の状況は？

- 今年度の山形県の結果を見ると、中学校3年生については実施された3つの教科全てで全国平均正答率を上回りました。数学が全国平均正答率を上回ったのは平成14年以来です。中学校の生徒、先生方の取り組みはもちろんですが、小学校段階での新しい学力観に立った授業改善の効果が出てきたとも考えます。
- 本校の3年生の正答率は、理科が全国平均正答率を上回っていますが、国語と数学については全国平均正答率に若干届かないという結果でした。ほぼ同時期に実施した教研式NRT検査。3年生の結果を見ると、国語が全国平均正答率を上回り、数学と理科が全国平均正答率とほぼ同程度という結果でした。ちなみに英語は全国平均正答率を上回っています。

（結果から見えること）

- ・問題を正確に読み取り、出題の意図を正確に捉えて、求められる表現形式で解答することに課題がある。
- ・複数の資料・情報を整理、分析して既習事項や日常生活と結びつけて考えることに課題がある
- ・友達のを考えを聞いたり、友達に考えを伝えたりすることが好きと答える生徒が多いことは好ましい。話し方、書き方の工夫等、より相手に伝わる話し方、書き方を磨いていく必要がある。
- ・成績分布を見ると上位の層が薄い。安易に正解が分かる課題に終始せず、じっくり、精一杯取り組まざるをえない、友達と知恵を出し合い対話的に解決を図る課題にチャレンジさせる必要がある。また、必ずしも正解がない問題でも粘り強く思考の過程を重ねる姿勢を育てていく必要がある。

本県と全国の正答率平均差の推移



※全国は小数点第1位まで示されているが、都道府県の値は小数点以下を四捨五入しているため、全国との差には幅が生じる



Q 状況調査（質問シアンケート）から見える六中生の良さと課題は？

前述したように、教科に関する調査（テスト）以外に、生活習慣や学習に向かう姿勢等に関わる75の質問アンケートが実施されています。アンケートの回答状況から見えてくる、六中生徒の良さと課題は以下の通りです。

- 先生はあなたの良いところを認めてくれる
- 難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している
- 人が困っているときは、進んで助けている
- 読書が好き
- 地域の行事に参加している
- 授業の中でICT機器を利用している
- 学習でICT機器を使うのは勉強に役立つ
- 授業中に自分の考えを発表するときは工夫している
- 学級での話し合いを大切にし、解決方法を決めている
- 道徳で考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいる
- 数学の勉強が好き
- 数学の授業内容はよく分かる
- 数学の問題を解くときにもっと簡単な方法がないか考える
- 平日の1日あたりのゲームの時間（2時間以上）
- 平日1日あたりのSNS利用・動画視聴時間（2時間以上）
- 困りごとや不安があった時に学校にいる大人にいつでも相談できる
- 勉強が分からないときに先生に聞く。自分で調べる。
- 自分で計画を立てて家庭学習をしている
- 平日2時間以上の家庭学習をしている
- 国語・理科の勉強が好き。勉強がよく分かる
- 国語・理科の勉強は大切

※山形県の回答状況と比較して、
○は「そう思う」・「している」など好ましい回答の割合が概ね3%以上高い質問事項。
●は反対に「そうは思わない」・「していない」の割合が概ね3%以上高い項目。

酒田市独自の「根の力」のアンケートの結果で見ても…
○「地域行事への参加、地域との繋がり」に関する項目は他校に比べて極めて高く、六中が誇れるところです。
●「自分で計画を立てて家庭学習をする」という項目は小学校時代よりも下がり、大きな課題です。

※全国比で見ると、好ましい回答が多い項目は他にも多くありましたが、より生徒を取り巻く環境が似かよっている山形県の回答との比較にしました。

Q 結果を受けて六中としてどんな取り組みで学力保障を？

【学校では…】

- ◇「教えることはしっかり教える」ことで基礎基本の定着を図る。
- ◇「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善。
 - ・面白そう、やってみたくて心が動く、考える意味・価値のある学習課題設定の工夫。
 - ・生徒同士が関わり、高め合う場の保障（協働的な学び）。
 - ・ふりかえりを大切にし、生徒が学びを実感→もっと深く学びたい→教師・生徒への質問
家庭での自らの学び
- ◇ファシリテーター・コーディネーターとしての教師の立ち位置のあり方の研修。
- ◇諸検査から見える課題の克服を意識した授業展開。ICTの有効活用。

【家庭（学習）では…】

- ◇与えられてこなす家庭学習から、「自ら求めて学ぶ家庭学習」への転換が必要。
 - ・どの教科を、どんな内容を、どの程度の深さで、どんな方法で学ぶことが自分にとって必要な学びになるかを考え、実行できる生徒を育てたい。
 - ・生徒がその術を身につけられるよう支援していくことが教師の役割。
 - ・一律に宿題を出すスタイルの見直しについて見直しを図っていく。
 - ・一人一端末内の学習アプリ（TOFAS）の有効活用についても模索していく。
- ◇平日の学習時間が少なく、ゲーム・SNS利用・動画視聴に費やす時間が多いというのは本校に限らず、山形県全体の課題。改めて家庭でもスマホ等の利用のあり方について話し合っていたきたい。

学びを支える
安定した人間関係
づくり:学級・生徒
と生徒・生徒と教師

